

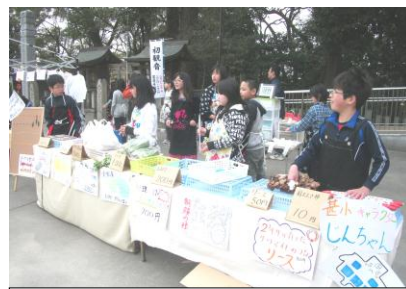
甚小だより



あま市立甚目寺小学校
21号
平成25年2月25日

賑わいが戻った・・・

5年生は、総合学習「われら産業調査隊」を年間通して学習しています。甚目寺地区の産業を調べたり商店街の歴史などを学習したりしてきました。特に、地場産業「刷毛産業」を詳しく調べたり、地域にある工場に出向いて働いている人にインタビューしたりして、11月の発表会では、保護者向けに発表しました。その学習をする中で、地域や人のよさにふれる機会があり、子どもたちは、何か地域にかかわりをもてる活動ができな



朝市の準備が整い、お客さんまち！



慣れない来店者の対応に四苦八苦？

いか模索していました。そんなとき、毎月12日に甚目寺観音境内にて開かれている「てづくり朝市」のことを知りました。朝市に集まっている人は、甚目寺地区以外に住んでいる人もたくさんいるということでした。その場所でしたら、甚目寺の特産物などを広められる絶好の機会

ととらえました。様々な手続きや依頼を経て、2月12日に実現しました。出店物は、甚目寺小学校で収穫した「レモン」と手作りの「キーホルダー」と「かたたたき」がメインでした。また、米勇さんから「こんにゃく」を刷毛産業さんから「刷毛」を地域の農家の方から「小松菜」・「方領大根」を提供していただきました。さらに、学校で獲れた「金柑」・「1年生が育てた朝顔の種」・「方領大根の種」・「2年生が制作したさつま芋のつるを活用したリース」も提供しました。子どもたちは、交代で店番をしましたので、全員が貴重な体験ができました。当初、甚目寺の産業について説明し、物を売るだけと思っていた子どもたちがほとんどでした。しかし、来店者からは、「どうやって調べたの」「小松菜はどうやって食べるのがおいしいの」「どこのお店に行けば買えるの」（売り切れたこんにゃくを見て）「キーホルダーの作成は、時間がかかったの」など、たくさんの質問をうけて答えた体験も子どもたちの財産になりました。出店時間内に全ての品が無くなり、売上高は12,987円にもなりました。売上金の使途については、地域に還元しようと子どもたちが計画中です。今回の「てづくり朝市」出店に際しまして、家庭はもちろんのこと、たくさんの関係者の方々から「子どもたちのためだったら」と温かいご支援をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

ユネスコスクールのプレートが届きました

前号では、ユネスコスクール加盟校の承認書の紹介をさせていただきましたが、2月20日には、ユネスコスクールの金属プレートが届きました。これは、ユネスコ国内委員会の事業に対して協賛している銀行より、寄贈されたものです。来賓用玄関に掲示する予定です。



立派なユネスコスクールのプレート



さっそく掲示 甚目寺観音にて

総合学習の活動を地域に発信する6年生

6年生は、総合学習の時間を利用して、甚目寺地区の歴史・人物や文化遺産等を調査してきました。その活動の中で甚目寺地区のよさを見直し、甚目寺のすばらしいところを11月には、保護者や地域の方対象に発表会を開催しました。さらに多くの地域の人に知ってほしいと願い、あま市役所甚目寺庁舎、甚目寺公民館、甚目寺観音、ヨシヅヤ甚目寺店にお願いし、簡単にまとめた模造紙を掲示させていただくことになりました。2月27日（水）から約1ヶ月間です。お出かけの時には、ぜひ立ち寄ってご覧いただけたらと思います。

また、甚目寺出身の小笠原博士とハンセン病を調べたグループより、右のような紙面掲載依頼の

手紙をいただきました。発信方法として、「甚小だより」を選択したわけです。自分たちの課題を解決する方法として、話し合っただけで決めたそうです。依頼されました原稿は、下記の通りです。

ぼくたち私たちの調べた小笠原博士のすごいところ

みなさん小笠原登博士を知っていますか？ぼくたちが甚小タイムで調べた小笠原博士は、とってもすごい甚目寺の偉人です。小笠原博士は、ハンセン病という病気にかかっていた人を助けていました。

ハンセン病とは、顔の形・手足が変形して、見ただけで病気とわかるから、皆からとても恐れられていた病気で、患者は差別されていました。

他の医者は、ゴム手袋をして診察していましたが、博士は素手で診察していました。他の医者は紙コップでお茶をふるまっていたのですが、小笠原博士は、湯のみでお茶をふるまっていた。

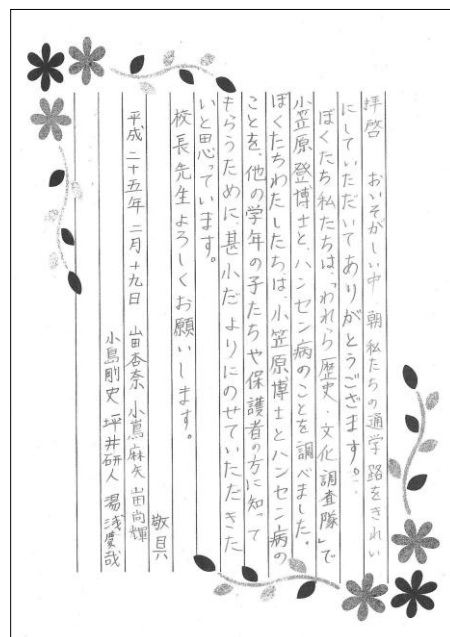


小笠原博士について調べたグループ



小笠原登博士

みなさんも小笠原博士をぜひ調べてみてください。



生活委員会の集会

《3つの「あ」》

生活委員会では、学校生活を見直してもらおうと「あるき方」「あ

いさつ」「あそび」について、21日（木）に集会をもちました。どの「あ」も楽しく安全に学校生活を送る大切な要素です。「あるき方」と「あそび」については、ルールを守ることが、友だち・自分にとって大事であると全校児童で確認し合いました。「あいさつ」については、「あいさつ絵本」より引用して全校児童にうたえました。あいさつは人間関係の基本ということ、時と場に応じたあいさつができるようになることが、すっきりとした人間関係をつくりだせることも紹介しました。

伝えたい ー 昔のくらしと昔の遊び ー



小学生時代の暮らしを聞く

22日（金）、社会科で「昔のくらし」を学習している3年生は、地域の方を招いて小学生時代のくらしの様子を聞きました。また、「昔の遊び」を学習している1年生は、地域のお年寄りを招き「お手玉」「あやとり」「けん玉」「めんこ」「こま回し」などを一緒に楽しみました。



昭和20年代の学級写真

感じとることができたと思います。



あやとり遊び



お手玉遊び



こま回し遊び